

令和8年度事業計画について

令和8年度重点戦略

- 1 北陸新幹線開業効果の最大化・持続化を図るとともに、中部縦貫自動車道県内全線開通を見据え、情報発信の強化や中部圏を中心とした誘客プロモーション、大都市等での商談会の開催や旅行博への出展等に取り組みます。
- 2 県域DMOとして、持続可能な「稼ぐ」観光地域づくりを推進するため、観光プレイヤー等の関係者の実情や観光データ分析等を踏まえた観光地経営戦略を策定し、計画的かつ効果的な観光マネジメントに取り組みます。
- 3 観光素材のさらなる磨き上げや観光人材の発掘・育成など、地域を戦略的に牽引するプレイヤーの支援に取り組むとともに、「FTAS」について、AIを活用したデータ分析を定期的に提供するなど観光DXの促進を図ります。
- 4 年間を通じた誘客の平準化やリピーターの獲得を図るため、国内外からのコンベンションや企業研修の誘致を進めるとともに、オーバーツーリズム等を背景に注目を集めている教育旅行の誘致拡大に取り組みます。
- 5 多言語版観光サイトの認知拡大やインバウンド利用が多い空港、主要駅等でのプロモーションを行うとともに、県内在住外国人目線での多面的な情報を発信し、インバウンド観光の拡大に努めます。

I 観光情報の収集と情報発信

1 ㊦ ふくいドットコム運営管理事業 (13,166千円)【補助事業】

福井県観光情報ホームページ「ふくいドットコム」を運営・管理し、県民参加や市町等との連携により、サイトコンテンツの一層の充実およびタイムリーな情報発信を行う。サイト内の写真更新やページ改修により、一層の利便性向上を図る。

2 旬の魅力PR・発信事業 (350千円)

国内外の旅行会社や出版社等に対して旬の観光スポット・食・トピックス等のおススメ観光情報を発信し、旅行商品の造成を推進する。

3 首都圏主要駅PR事業 (2,840千円)【補助事業】

福井県の認知度拡大を図るため、首都圏の北陸新幹線停車駅などJR主要駅に観光ポスターを掲出する。

4 観光マップ作成事業 (14,520千円)【補助事業】

県内の主要観光地やイベント等を紹介する「福井県観光情報マップ」の情報を更新し増刷することで、観光客の利便性を高める。

5 広域観光案内板等整備事業 (236千円)【補助事業】

ふくい歴史街道に設置している観光地案内看板の情報を更新する。

Ⅱ 国内・海外の誘客推進

1 国内からの誘客

(1) 持続可能な「稼ぐ観光バスツアー」支援事業 (5,600千円)【補助事業】

県内に宿泊し一定額の消費活動を行う貸し切り観光バスツアーを企画する旅行会社に対して支援を行い、県内での滞在時間の延長や、宿泊・食事・物販施設等の複数利用による観光消費額の拡大を図る。

(2) 県外観光商談会開催事業 (10,701千円)【補助事業】

首都圏、関西・中京エリアを対象に、県内の観光事業者が現地の旅行会社等と商談を行う観光商談会を開催し、本県を目的地とした旅行商品の造成および販路開拓を支援する。大阪会場の規模を拡大し、商談機会のさらなる増加を図る。

(3) 出向宣伝等の営業活動事業 (5,787千円)【補助事業】

① 出向宣伝等の営業活動等

首都圏、関西・中京エリアでのイベントにおける出向宣伝や旅行会社等に対する営業活動を行う。

② 県外イベントでのブース出展

ふるさとまつりや、スポーツ大会等において福井県ブースの出展等を行う。

③ 観光宣伝隊の運営

「福井県越前・若狭の観光宣伝隊」について、県内外で開催されるイベント等への派遣および研修を行う。

(4) ツーリズム EXPO ジャパン出展事業 (14,667千円)【補助事業】

国内最大級の観光展示会「ツーリズム EXPO ジャパン」(9月に東京で開催)に出展し、福井ならではの食や伝統工芸品等を直接体感できる機会を増やし、全国の旅行会社や来場者に本県の魅力をPRする。

(5) 福井を学ぶ体験旅行推進事業 (13,261千円)【補助事業】

年間を通じた誘客の平準化を図るため、修学旅行および合宿等の誘致を強化する。

① 旅行会社や学校組織等への営業強化

② 北陸3県、JR、北陸経済連合会との連携による誘致や商談会の開催

③ 県内で体験学習を行った学校に対する体験料の助成

④ 本県に修学旅行を送客した旅行会社に対する送客手数料の助成

⑤ 本県での視察・研修を行った旅行会社や学校に対する費用の補助

⑥ 県内事業者向け受入体制強化研修の実施

(6) 教育旅行民泊受入体制強化事業 (7,065千円)【補助事業】

教育旅行における民泊の受入体制を整備するため、ワンストップ窓口を設置し、本県への教育旅行の誘致を図る。民泊業務の専任者を新たに設置し、効率的な受入や新規家庭開拓等の営業活動を強化する。

(7) ⑨ 中部縦貫自動車道全線開通に向けたプロモーション事業

(1,335 千円)【補助事業】

中部縦貫自動車道の全線開通を見据え、長野県での出向宣伝や岐阜県でのドライブスタンプラリー等により、本県の認知度向上および広域周遊の促進を図る。

2 海外からの誘客

(1) コンベンション誘致・活用推進事業 (10,183 千円)【補助事業】 ※再掲

台湾、シンガポールでの商談会参加や、現地旅行会社等への営業および多言語に対応したパンフレット作成により海外からの M I C E 誘致を図る。

(2) 観光マップ多言語化事業 (3,498 千円)【補助事業】

「福井県観光情報マップ」を多言語に翻訳し、インバウンドが旅ナカで利用できる外国語の観光パンフレットを作成する。

(3) DISCOVER FUKUI Official Travel Guide 運営事業 (4,491 千円)【補助事業】

多言語ホームページ「DISCOVER FUKUI Official Travel Guide」を運営し、インバウンドに刺さる情報を発信する。

(4) ⑨ 県内在住外国人による情報発信事業 (624 千円)【補助事業】

県内在住外国人と連携して、県内観光地に関する記事を作成し、ホームページや SNS において外国人目線の情報を発信する。

(5) 中部国際空港の WEB サイトを活用した広域的な情報発信事業 (550 千円)

中部国際空港の広域周遊を促進するインバウンド向けのウェブサイト等において、福井県の観光コンテンツを掲載し、空港利用者を中心とした誘客促進を図る。

(6) JR 主要駅・国際空港等における観光プロモーション実施事業 (1,000 千円)

訪日外国人観光客が利用する主要駅や国際空港等で、J R や各団体との連携による出向宣伝を独自に実施し、本県の認知度向上や来県への意欲向上を図る。

Ⅲ 着地型観光の整備と人材育成支援

1 観光客誘致体制強化事業 (18,882 千円)【補助事業】

民間の専門家を 2 名配置し、観光団体や旅行会社、J R 等との連携により、観光コンテンツの磨き上げ、首都圏等での営業活動や情報発信等を行い、誘客を促進する。

2 観光素材発信事業 (693 千円)【補助事業】

旅行会社が本県の旅行商品の造成を行う際に活用できる観光素材集(データ)を作成する。

3 ㊦ 着地型旅行商品企画販売事業 (9,336 千円)

本県への観光客誘致拡大を図るため、県内の魅力ある観光資源を活かした着地型旅行商品の企画販売を行う。専用システムを導入し、業務効率の向上を図る。

4 稼ぐガイドツアー商品造成事業 (4,685 千円)【補助事業】

観光客の満足度向上および滞在時間の延長・観光消費額の拡大を図るため、DMO や観光事業者が求める旅行商品の造成や必要なガイド人材の育成を支援する。

5 地域事業者による着地型観光バスツアー「はぴバス」運営支援事業 (28,676 千円)【補助事業】

地域事業者が運行する着地型観光バスツアー「はぴバス」について、情報発信や旅行会社への売り込み等のプロモーションを支援し、持続可能な運行を目指す。

6 地域活性化に取り組む団体の支援 (2,000 千円)

まち歩きを活用した地域活性化推進のため、観光ボランティアガイド団体による研修会開催や学校への出前授業に対する支援等を行う。また、中部縦貫自動車道全線開通を見据えた周遊観光を促すため「ふくいやまぎわ天下一街道」の誘客活動を実施するとともに、地域イベント等に対する後援・協賛を行う。

7 ふくい観光案内所運営事業 (34,926 千円)【福井市委託事業】

福井市観光交流センター内のふくい観光案内所について、福井市および県と連携し、福井県を総合的に案内する観光案内所として運営することにより、観光客の利便性向上や周遊促進を図る。

8 広域観光連携事業 (1,500 千円)

北陸三県の観光関係機関と広域で連携し、国内外からの観光客誘致活動を実施する。

① 北陸三県観光連盟共同事業

首都圏や関西の旅行会社等を対象とした観光商談会や三県合同のプロモーション等を実施する。

② 北陸三県誘客推進連携協議会への参画

北陸三県、J R 西日本、北陸経済連合会が連携し、首都圏、関西・中京エリアを中心に北陸の魅力を P R する。

IV コンベンション振興事業

1 コンベンション開催助成金事業 (65,350 千円)【補助事業】

コンベンション開催による地域経済の活性化および年間を通じた誘客の平準化を図るため、県内でコンベンションを開催する主催者に対して開催助成金を交付する。

2 コンベンション誘致・活用推進事業 (32,744 千円)【補助事業】 ※一部再掲

大都市圏等での誘致活動や視察の受入れや国内外で開催される商談会への出展により、企業コンベンションや学会を中心とした次期コンベンションの県内誘致を図る。

V DMOによる地域づくり推進

1 観光地域づくりマネージャー等設置事業 (63,111千円)【補助事業】

全国で観光地域づくりやホテル運営、コンテンツづくり等に優れた実績を持つ観光の専門人材として観光地域づくりマネージャー等を設置し、市町や地域の観光事業者等に対する指導・助言やマーケティング、コンテンツ開発、インバウンド受入環境整備、外国人目線でのインバウンドビジネスのサポート等に取り組む。

2 地域の観光を担うプレイヤー支援事業 (20,000千円)【補助事業】

新たな地域ブランドや宿泊スタイルの創出、先駆的な体験・アクティビティの開発、特色ある食の提供など、「福井らしい魅力に溢れたオリジナリティある観光商材」の新規開発や既存コンテンツをブラッシュアップする民間事業者等を支援する。

3 観光教育推進事業 (15,625千円)【補助事業】

観光ビジネスを実践する多様なプレイヤーを育成するため、「福井県観光アカデミー」を開催する。また、仁愛大学との連携のもと、「観光学特設コース」の運営や、社会人対象の公開講座等を支援することにより、地域の観光専門人材育成の強化を図る。

4 ⑧ 観光地域づくり法人(DMO)登録制度に係るガイドライン改正への対応事業 (4,612千円)【補助事業】

観光庁登録の観光地域づくり法人(DMO)に必要な研修の受講や、県内の観光関連データの収集により、DMOとしての経営戦略を策定する。

5 ⑨ 観光DX推進事業 (78,120千円)【補助事業】

国内外の来訪者や県内宿泊施設等の予約状況データの収集・分析・公開を行う「FTAS」を運営する。新たにAIによるデータ分析機能を導入し、事業者の負担軽減による観光DXの推進を図る。

6 市町の観光商品造成支援事業等(36,108千円)【補助事業】

市町の観光商品造成を支援するため、市町と旅行会社の意見交換会を開催するほか、県内の観光プレイヤーやDMO等への外部専門家派遣や他地域の先進的な観光プレイヤーとの連携により県内事業者のレベルアップを図る。また、観光事業者の本県への視察の実施により、県内への出店・移住意欲の向上を図る。

VI 組織運営

1 総会・理事会の開催

総会、理事会、正副会長会議、監事会等を必要に応じて開催する。

2 観光功労者等の表彰

観光振興に功績のあった団体・個人を表彰する。

3 観光連盟の活動紹介

ホームページ「ふくいドットコム」で連盟や会員の活動状況を紹介する。

4 関係団体の行う事業への負担金支出

(公社) 日本観光振興協会等、観光振興や地域の活性化を目的とした団体へ負担金を支出する。